

(別添7)

事業所名 グループホーム小倉ゲンジョウ

2 目標達成計画

作成日: 平成 30年 1月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	理念に関して、職員全体で共有はできているが、職員同士での理念の理解や解釈などもっと深めていく必要がある。	理念に関して、職員全員で共通した理解を持ちながら実践できるように取り組んでいく。	職場会議で、各職員へ理念に関しての解釈を確認し、職員全体での共通理解を深めたうえで、理念が実践できるように取り組む。	4ヶ月
2	35	グループホームの近隣の住民の方との面識があまりなく、防災時の協力や連携のお願いができていない。	近隣住民の方と面識を持ち、交流を深め防災時での協力や連携ができるようになる。	自治会長に間に入って頂き、近隣住民の方を紹介していただく。その際に防災時での協力や連携のお願いをする。また、面識ができれば日常生活での挨拶など積極的に行い交流を深めていく。	6ヶ月
3	13	認知症に関する知識や認知症の人の気持ちの理解など、各職員でバラつきがある。	認知症の基本的な知識を深め、認知症の人の気持ちの理解を職員全体で深めたうえでケアが実践できるようになる。	知識を深めるための職場内研修を行う。どこまで知識が身に付いたか定期的に確認をし、その力量に合わせながら、適宜OJTを行いながら知識を深めていく。 また、認知症の人の気持ちを理解するために、認知症の方の気持ちを職員が疑似体験できる研修を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。